

## 令和4年度 学校経営環境分析書

阿賀中学校区 校番 8 学校名 呉市立阿賀小学校

## 1 学校の内外環境の分析

外部環境	<p><b>O</b> (支援的要因)</p> <p>＜地域環境＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・神田神社祭礼、阿賀のお漕船、豊栄新開完成記念碑など、有形・無形の文化財が多い。</li> <li>・水産業（カキ打ち）が盛んである。</li> <li>・地域の行事やまちづくりセンター行事が活発である。</li> <li>・中学校のソーラン踊りは地域や小学生にもあこがれとなっている。</li> <li>・JRを使った交通移動ができる。</li> </ul> <p>＜教育環境＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方々の学校に対する関心や期待が高い。</li> <li>・ボランティア活動が活発で、多くの支援が得られる。</li> <li>・阿賀学園地域教育連携協議会（アガデミア）による交流活動が盛んである。</li> </ul>	<p><b>S</b> (強み)</p> <p>＜教育集団＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員集団が組織として機能している。</li> <li>・小中一貫教育の推進により、教師間の連携が活発に行われている。</li> <li>・積極的な生徒指導が実践できている。</li> </ul> <p>＜児童＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業での学習規律の向上が見られる。</li> <li>・あいさつの声がよく響いている。</li> <li>・無言移動・無言掃除ができる。</li> <li>・阿賀小児童ボランティア隊「AJV」の活動が広がっている。（きれいにし隊・オアシス隊）</li> </ul> <p>＜環境＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広い図書室やワークスペース、ユーカリ広場を有効活用できる。</li> </ul>	内部環境	
	<p><b>T</b> (阻害的要因)</p> <p>＜地域＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の言語環境（命令口調やよびすて等）の影響が出ている。</li> <li>・阿賀マリノ大橋や東広島呉道路の開通に伴う交通量増加により、交通事故発生の危険度が高い。</li> <li>・学校は海拔1.4mにあり、津波、高潮、液状化対策が必要である。</li> <li>・スーパー・コンビニが多く、誘惑が多い。</li> </ul> <p>＜家庭＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的生活習慣の再構築が必要な家庭が多い。</li> <li>・家庭によって学校教育への関心や家庭の教育力に差がある。</li> <li>・時に理不尽な要求をしてくる保護者がいる。</li> </ul>	<p><b>W</b> (弱み)</p> <p>＜児童＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習意欲が低く学力の定着が不十分な児童や、家庭学習の習慣が身についていない児童がいる。</li> <li>・運動能力は向上傾向にあるものの、二極化傾向にある。</li> <li>・自己肯定感や自己有用感を十分に持てない児童がいる。</li> <li>・不登校児童生徒の割合が小学校1%、中学校4%で減少には転じているものの、目立った減少には至っていない。</li> <li>・規範意識がうすく、暴力行為や人を傷つける言動をする児童がいる。</li> <li>・自分の思いをはっきりと表現できにくい児童がいる。</li> <li>・発達障害児童が6%程度おり、個別の手厚い対応を継続中である。</li> </ul>		

## 2 重点課題

- ① 「個別最適な学び」の実現を目指して「主体的な学び」を促進し、学力の向上へ
- ・授業改善を進める。（自分の考えをしっかりと持ち、表現する。振り返りをする。ノートにまとめる。→主体学習へ）
  - ・基礎・基本の定着を図る。（ドリルタイム・学力補充時間の設定、漢字検定の実施、国語辞典の活用）
- ② 規範意識の醸成と自尊感情の高揚
- ・「阿賀小オアシス隊」活動を生かして、地域へも挨拶運動を広げる。「返事・あいさつ・くつそろえ」の徹底。
  - ・児童の頑張りや成長を認め、ほめることを通して、「夢」を持ち、「自分が好き」と言える子どもを育成する。
- ③ 心と体の健康づくりの推進
- ・運動の日常化を進め、体力向上を目指す。残食ゼロを目指す。
  - ・「早寝・早起き・朝ごはん」の基本的生活習慣の定着を図る。

支援的要因と強みを生かした活動・取組は

- ・教育活動の情報発信を積極的に進め、保護者・地域と一体となった学校経営を進める。
- ・阿賀学園地域教育連携協議会（アガデミア）との連携による諸活動を練り上げる。
- ・小中一貫教育の中で、「学びの変革」に取り組み、学力・体力の向上及び規範意識の醸成を図る。また、「思いやり・感謝・貢献」を目指して、ボランティア活動を充実させる。

- ・縦割り班の効果的活用、1泊2日の野外活動の実施、児童ボランティアの導入などにより、人間関係形成能力の向上を図る。
- ・生徒指導規程に基づく指導の徹底や警察等の関係機関と連携を行い、規範意識の醸成を図る。
- ・食育の推進などにより、健康な心と体の育成を図る。
- ・全校朝会、校内放送、玄関掲示等を活用して、がんばっている児童をほめる。
- ・職員室へ出入りする場面での行動様式の徹底により、好ましい言動及び社会性の徹底を図る。

阻害的要因と弱みを克服する活動・取組は